

Smile Woman!
インタビュー⑭
この人の仕事のカタチ
どこか輝いて見える仕事、そして、生きている本人にズームアップ。



Hiroko Hosomi

ガラスと金属が 織りなす美の世界

「かわいい、きれい、不思議」「瞬じて人々の心をつかむ作品の数々。まさにガラスと彫金が織りなす美の世界だ。カネ、ミツバチ、ハスの花などの動植物が、鮮やかな吹きガラスとスズ合金の組み合わせによって作られる。これは岡山市南区浜野の「アトリエアーツ」で活動する細見博子さんによって生み出されている。

見ているだけでワクワクする彼女の作品から「さあ細見ワールドへようこそ！」そんな声が聞こえてくる。

● 枠にとらわれない作品作り

細見さんが芸術の世界へ入ったきっかけは、大学時代に軽い気持ちで習い始めた彫金。そこから物作りへの興味を深め、アクセサリー制作を経て現在の作品作りに至るが、大学卒業後の渡米は彼女の作風や芸術家人生に特に大きな影響を与えた。「アメリカの芸術に触れ「何でもありなんだ」と感じたととき、専門的な知識や技術のない私でも出来るかと思っただ」と笑って話す。作品の魅力や伝えたこととは？、との質問に「枠にとらわれない作品です。皆さんがシンプルに楽しんでくれるのが一番です」。一人々にガラスの美しさと共に気持ちを開放する時間を届けたい。

● 努力が良い流れをつくる

芸術の世界においては常に新しいものが求められる。それを苦しみと捉えるか、自分に与えられた

造形作家

細見 博子さん

<http://www.hirokohosomi.com>

課題と前向きに捉えるかは人それぞれだ。「たいていの事は一生懸命やっつければ何とかなるんじゃないかな」と前だけ向いて進む細見さん。自由なイメージに見え隠れする人倍の努力が、彼女の作品をさらに際立たせる。

今年には瀬戸内市立美術館の展示を始め、GWに開催される大島時間の参加など精力的に活動を行う。「そう言えばこの一年間のスケジュールがほぼ埋まっていますね」。力まず流れに身を任せる。でも努力は忘れず、そんな彼女らしい言葉だ。

● 作品も人柄も魅力的

「プライベートも仕事も余り変わらないですね」。時間があれば作品を作っているという。理屈ではなくまず行動を起こすのが彼女スタイル。趣味の旅行も思いついたら即実行する。「フラワーストーンが欲しくて……」と以前訪問したショップの店を語る。

半宿舎という素敵な環境下でも楽しく目的のフラワーストーンの収集に励み見事手に入れた帰国した。頭で考えるのではなく心で感じ、表現する細見さんの作品は、これからも多くの人を魅了し続けるだろう。

